

平成27年3月場所現在、関取3名、若者34名（幕下4、三段目11、序二段15、序の口1、番付外3）スタッフを含め総数52名で構成されています。

北総開発鉄道 松飛台駅からほど近い新東京病院松飛台の近くに建つ白い建物が、元関脇琴ノ若率いる佐渡ヶ嶽部屋です。

平成6年10月墨田区太平よりこの地に越してきました。

※引越し当時は故第53代横綱、元琴櫻13代佐渡ヶ嶽が師匠でありました。

※平成17年11月場所、12代佐渡ヶ嶽の定年退職に伴い代替わりをしております。

師匠琴ノ若の現役時代は、大きな身体を生かした寄りや上手投げは、スケールも大きく魅力満点でした。

平成2年11月場所（九州）新入幕、幕内の手痛い洗礼を受け翌平成3年初場所は十両へ落ちるも、次場所3月場所（大阪）の帰入幕から、平成17年11月場所の引退表明までの間、実に1500番以上の土俵を努め、幕内在位90場所（歴代5位）と息の長い力士で居られたのも「継続は力なり」の好きな言葉通り稽古量も多く弛まず努力をし続けた結果と言えます。

現在は、先代佐渡ヶ嶽親方（元横綱 琴櫻）の築いた遺産を継承しながら新弟子発掘も熱心に行い、そのノウハウや情熱は先代親方を良き教科書とし、オリジナルを付加する手法で着実に所属する力士が増加傾向にあります。

